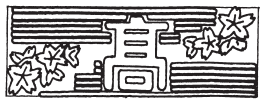


ご入学おめでとうございます



普通科 141名
 総合ビジネス科 43名
 看護学科 94名
 計 278名

平成28年4月9日



希望

第 111 号

発行所

〒860-8558 熊本市中央区内坪井町4番8号

熊本中央高等学校

後援会(保護者会)広報委員会

TEL 096(354)2333

FAX 096(356)6279

印刷 かもめ印刷 279-3440

理事長就任ご挨拶

理事長 森 弘昭



田中力男前理事長の後を受けて去る五月二十七日、本学園理事長に就任いたしました。創立百十三年の私学の伝統校の責任者となり、月並な言葉ではありませんがその責任の重さを痛感しているところです。

学園理事会では、平成二十二年五月、「経営理念」と「経営方針」を定めこれに基づき学園運営に当たっています。

即ち、経営理念は「共感と参加」、つまり役員・教職員一体となった全員参加の経営を行い、本学園の教育・研究の充実と財政基盤の強化を図ろうというものです。

そして、この理念実現のために具体的な九項目の経営方針を定めています。その中の一つに次のことを掲げています。

教師による一方的な教育ではなく、生徒との双方向性をもった教育を心掛ける。教師自ら資質の向上、教育力の向上を図り、生徒の個性に応じた指導を行い、進学実績のほか社会に順応できる良識(注・善悪の判断)常識(注・あたり前に持つ

べき思慮分別、見識(注・の涵養を図る教育、規範意識(注・判断・評価・行為などの拠りどころ。従うべき基準)を身に付けさせる教育を行うということ。これを一言で言えば「喋り同時」の教育です。この言葉は、昨年十二月の「希望」一〇九号への寄稿でもふれましたが、禅宗の言葉であり、鶏の卵がかえる時、殻の中で殻が殻をつつき、母鶏も外から殻をかみ破るという同時の行為で新しい生命が誕生することから、師弟のはたらきが合致することの必要性を説いたなか含みある言葉で私の大好きな言葉の一つです。

時あたかも、新二号校舎、二号校舎、寮が完成し、更には来年三月、三号校舎も完成する予定です。かねて念願のハード面の整備が図られ、これに並行して教育内容面、ソフト面も着実に充実して来ていますが、今後更にこの良き流れを一層確かなものにし、将来に亘って本学園の私学としての基盤をゆるぎないものにしていくと決意を新たにしています。

どうか、生徒保護者の皆さま始め各方面の皆さま方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いし就任のご挨拶といたします。

希望を持つて

後援会会長 中川美紀



初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より後援会活動へのご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。今年度、熊本中央高等学校後援会会長を仰せつかりました中川と申します。

熊本城復旧支援チャリティーコンサート

吹奏楽部顧問 森 智也

この度の平成二十八年熊本大地震で被災されました皆様にお見舞い申し上げます。また応援メッセージや物資をいただきました皆様にも御礼申し上げます。

今回のチャリティーコンサートは、吹奏楽部員の「熊本を元氣付けるボランティアがしたいです」という一言が開催の発端となりました。本校からいつも眺めている熊本城復旧のためチャリティーコンサートをしようにと交流の深い四校に出演を依頼しました。

五月十日から開催日を考察し先の見通しも立たないままでしたが、新市街商店街やくまもと音楽復興支援百人委員会をそれぞれ各高校のご協力を得て、準備が一段落



念しておりましたが、様々なところで告知をしていたが、悪天候にもかかわらず

平成28年熊本地震 高校生もがんばるぞ!

6月12日(日) 午後2時~3時30分 サンロード新市街



念しておりましたが、様々なところで告知をしていたが、悪天候にもかかわらず

月しかない中、実施することができました。当日は集客できるかと懸念していましたが、

さて、今年度は入学式早々の熊本地震で四月十四日、十六日と相次いで大きな地震に見舞われ広い範囲で大きな被害を及ぼしました。学校も長期に亘り休校となり、子ども達が楽しみにしていた歓迎遠足や体育祭なども中止にせざるを得ない状況でした。子ども達にはとても残念な思いをさせたいと思っております。

また学校では、先生方がすぐに授業が出来るようにと連日に亘り教室などの片付けを一生懸命して下さり感謝致しております。まだまだ不自由な所もあるかとは思いますが子ども達が元気に学校に通って姿を見て安心しました。後日は一日も早い復旧復興を願うばかりです。

私達、後援会一同は子ども達の事を一番に考え先生方と一緒にさまざまな行事に参加し、子ども達と携わり楽しい時間を過ごして行きたいと思っております。

ざ大勢の皆様にお集まりいただきました。アークード内での演奏は初めてで、緊張の中始まりましたが、観客の皆様から温い拍手や拍手をいただきましたので、部員もリラックスして楽しく演奏できました!

地震で失ったものも多くあり悲しみは尽きませんが、手に入れたもの(気が付かされたもの)も多くありました。高校生のパワー、人の優しさ、絆や縁などこれから熊本が地震を乗り越えるのに必要な力強さを感じました!

ご支援、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

吹奏楽部部長 三年 谷口侑梨愛

今回、六月十二日にサンロード新市街にて熊本城復旧支援チャリティーコンサートを行いました。このチャリティーコンサートでは熊本地震で被災した熊本県民の皆さんへ音楽で元気を届け

皆様も子ども達の学校での様子や成長を後援会活動を通じ、ご覧頂ければと思います。

その他にも先生方、保護者間での情報や意見交流の場を多く設けたいと考えておりますので積極的に行事に参加頂けたらと思います。

これからも役員一同、力を合わせて頑張りますので、皆様のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後に熊本中央高等学校の益々のご発展を祈念致しまして就任の挨拶とさせていただきます。

被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

募金活動で集まったお金を熊本城復旧の為に寄付するということを主旨として行いました。



短い時間での練習でしたが、当日は多くの方々に温く見守られ演奏しました。本校の演奏が終わると沢山の拍手やお声をいただき、最高の演奏が出来たと思います。エンディングは親交深い他校の吹奏楽部五校合同で演奏しました。私は指揮をさせていただき、演奏している仲間達の笑顔、演奏を聴いてくださっているお客様も温かい拍手に包まれても楽しくできました。

今回のチャリティーコンサートは色々な方々の支えとご協力があったからこそ成功することができました。本当にありがとうございます。

希望

熊本県高校総体結果

インターハイ出場おめでとう!

7月28日～岡山県中心インターハイ
「2016 情熱疾走 中国総体」

●女子柔道 個人57kg級 優勝 白石 明



●陸上

男子200m 6位 瀬川湧馬 (21'96)
男子三段跳 5位 太田 樹 (13m90)
男子走幅跳 5位 日高修杜 (6m95)
男子4×100R 3位 (41'07)
男子4×400R 4位 (3'14'75)



杉本龍哉・柴田祥志
日高修杜・瀬川湧馬

●女子ソフトテニス

個人 3位 山崎有美、宮原菜央
(九州大会出場)

九州大会出場

●女子ソフトテニス

個人 5位 石田汐里、上村莉奈
団体 2位

平成28年度定期総会開催

五月二十八日(土)熊本中央高校において出席者百四十名、委嘱状五百十八名計六百五十八名により、平成二十八年度定期総会が行われました。平成二十七年活動報告、決算報告、平成二十八年度役員承認、活動計画案が承認されました。

今学期の学園の様子

◆一学年主任 竹原一輝

一年生の様子

新入生が入学して三ヶ月が経ちました。入学式の後、三日間のオリエンテーションを終え、いよいよ授業に入ったと思ったところでの熊本地震で、まだまだ高校に慣れていないまま長い休みに入ってしまった、中には自宅が大きな被害に遭ったという生徒がいることも聞いていたため大変心配しましたが、GW明けの五月六日、久しぶりに登校してきた生徒たちを見た時、私たちが想像していたよりも明るい表情だったので、担任団一同とても安心したことを覚えておきます。

学校が再開した後は徐々に日常の生活に戻り、生徒たちの性格や特徴も少しずつ分かかってきました。今年の一学年は全体的に理解力が高く同じことを何度も言う必要がないため、これまでになく落ち着いているように感じています。

◆二学年主任 塩田頭一郎

「チーム学校」を二学年から

今、教育界で最もホットなキーワードを御存じでしょうか？まあ、いろいろあるかもしれませんが、その一つに「チーム学校」

話焼きのおばあちゃん、トレーニングで理論的なおばあさま、品があつて冷静で、常識を教えてくれるおばあさま：通常、一チーム学校を考えると、厳しい壁となる「ファザー教師」、カウンセリングマインドを前面に出した「マザー教師」、お兄さんやお姉さんの役割をする「チャイルド教師」の三つのタイプが最低でも必要とされるそうです。でも、我が校の二学年は、もっともっと細かく、様々な役割を体現できる担任の先生方で構成されています。これがこの学年の「売り」であり、熊本中央高校の「売り」です。今の時代、何もかもすべてできるといって「スーパー教師」は不可能だし、必要ありません。多面的な一人一人の生徒の特性に、いろいろなアプローチができることが学校の、あるいは学年の力です。二年の学年団は、昨年のスタート時点から、意識するしないにかかわらず、自然と、そういう「チーム」の力というものを支えがはばたきました。たまたま一人の生徒にこだわり、議論し、それぞれの役割で、それぞれのアプローチをさせていく。そういった「チーム学校」の理想形がこの学年にはあります。ご安心ください。それから、昨年、「モンスターペアレント」ということが言われます。世間ではあまりいい言葉ではないようですが、二学年に関しては、「モンスターペアレント」大歓迎です。それぞれの各担任は、常にオープンに、いつだって真剣に学級経営に取り組んでいます。大切なのは学校の体面や教師の面子ではなく、一人一人の生徒たちの「成長」です。そして、そのことに真剣になる時、親だっ

ていまして、もちろん、厳しいお母さんもお父さん、休日も返上でも頑張りな情熱的なお兄ちゃんも、クールだけれど、ほんとは熱い文化レベルの高いお兄ちゃんも、親身になって相談のつてくれる粘り強いお姉ちゃんや、いつも愚痴を聞いてくれるほがらかなお姉ちゃん、勉強にずっと付き合ってくれるお姉ちゃんお兄ちゃん、そうかと思ふと怒るのが専門の頑固親父、口が悪くてしつこい熱血おじさん、それから最年長で口うるさいけれど、どこかほっとする世

小山真佐夫先生を偲んで (塩田頭一郎)



第13代校長 (H15.4～H21.3在職)

熊本中央女子高校にきた頃、なぜだか小山先生は、いろいろな場所、いろいろな人、いろいろなことを高く評価して下さった。今考えても、先生にどんな意図があつたのか、先生にどんな意図があつたのか、たまたまそれだけのことが、すこくうれしくて、かすかだけれど、自分もやれるのかなあ、という自信めいた思いを抱かせてもらったことを覚えている。

何年前になるだろう。始めて担任をした商業科の生徒たちが何とか無事卒業して行った次の年、普通科の芸術コースの担任をした。現在母校に勤務されている泉由美先生や本山真理子先生が在学していた学年だ。うまいかないか、多分多かった。担任としての考えも甘かったし、生徒をその気にさせる力も弱かった。とにかく力がなかつた。だからだ、あろうことか、わたしはその自分のクラスで「一件罰」事件を起こしてしまふ。正直、そのことについては思い出

ばかりです。それに関しては自信を持って断言できます。いろいろと心配とは思いますが、二学年の「チーム学校」を信頼して下さり、ご支援して頂ければと願っております。今後ともよろしくお願いたします。

◆三学年主任 織田紗智子

一学期を振りかえって

三年生にとりまして一学期は、とても大切な学期です。四月十日に学年集会を行い、一学期の過ごし方を話し、学年全員で気合を入れて頑張ろうと誓いあつた直後に、誰も予想していなかった「熊本地震」に襲われ、何もかもが停滞したかのような状態になってしまいました。私は今年から学年主任になり、三年の授業は数クラスしか担当しかしていませんので、とにかく

た先生はいらっしゃらなかった。こういう言い方は失礼かもしれないが、はっきり言えば、今よりも、もっと牧歌的で、いわゆる職人のような先生方が多かった。教師という仕事を理論的にとらえ、考え、「技術」として高めるという発想はなく、ただ、自分の経験という「技」で生徒たちとかかわっていく先生方が多くいらした時代だった。だから、自分も含めた当時の若い先生たちは、教わって身に付けるというよりも、いわゆる「盗む」といったことを意識しながら切磋琢磨していたように思う。でも、小山先生はそういうたゆるやかな雰囲気とはまったく違ったことをよくおっしゃられていた。教師という仕事を理論的にとらえ、本を読み、勉強して「技術」を高めて行くべきだという考えを誰よりも率先して訴えられていたように思う。わたしも意地になって難しい本を読んでいた時期だったので、後年「本ばかり読む」と小山先生が多くの先生方から批判されるたびに、誤解だなあ、ってがっかりしていた。でも今、あれが二十一年近くたち、熊本中央高校も変わったと思う。小山先生が提唱されていた「言葉の力」そして、教師は、本を読み、勉強し、「技術」を高めなければならぬという厳しい姿勢は、そ

れぞれ形や方法を変えて、若い世代の先生方に、我が校独自の「教師」のあり方として、しっかりと受け継がれていっていると思う。いろいろなことがあつて、息子が生まれ、公私ともにお世話になり、数年前、家族でお宅にお招きいただいたにもかかわらず、伺えなかったのが最後であつた。先生が亡くなられたことを聞いた日、以前、先生からいただいた「反転の思想」をじっくり読み返した。難しい。でも、「死」について、科学や時代の脅威の中で、いわゆる「言葉の力」の抵抗を模索されている先生の「熱さ」がはつきりと感じられた。

最後の一文に「わが国も、近未来医療における自己決定権が確立する日が訪れるであろう。その時に、人が死や生をどう捉えるかという考え方に、選択の幅を残しておくべきだと思っている。そして、一人称としての自分がどうするかというものをじっくりと考えていきたい。」と書かれています。最後になるが、無礼なことでもたくさん言った。だからだろうか、言葉に尽かせないほどの思いが消えない。先生のご冥福を心より祈りたい。